

## 担い手のライフサイクルに応じた支援

タイトル 国産バニラ新規就農支援

J A 名 福岡大城（福岡県）

1 動機 (経緯)	<p>沖縄県の果樹園にて、バニラ栽培を手掛けていたことから、バニラ栽培の技術には長けており、当地へ転居された折に、自身で国産「バニラ」という少ない品種の栽培を行うこととして、新規就農の希望をされたものである。</p>
2 概要	<p>就農希望地区の産業振興課・普及センターとの合同で、就農計画とのすり合わせを行い、希望のハウス遊休施設の斡旋が出来た事により、就農支援資金の融資を行い就農となった。</p>
3 成果 (効果)	<p>現在 2 年目にある当該青年就農者であるが、バニラの他・オリーブ・ブルーベリーの耕作も行い、少量多品目でリスク軽減での就農となっている。</p>
4 今後の 予定 (課題)	<p>バニラは、そもそもメキシコが原産であり、湿度を嫌うことから、夏場はハウスの中を「ドライ環境」にして栽培を行っており、湿度管理が難しい品種である。冬場も「蘭」と同様の管理が必要となる。</p> <p>また、苗も非常に高価であり、株分けを繰り返して増やしていかねばならない。</p> <p>バニラは出荷できるまでには、3 年間の期間を要し、現時点、J A で「出来」の確認はできていないものの、良いものならば、当 J A の直売所で販売しているアイスクリームに、この国産バニラを使用し「大城ブランド」として確立したい考えを持っている。バニラ農家を育てていきたいと思っている。</p> <p>現在、1 人で作業をされているが、規模拡張を考えられており、J A 等に臨時作業員等の斡旋要望をされており、J A もこの要望に応えたいと考えている。</p> <p>なお、規模拡張時の資金として、近代化資金等の制度資金の活用を検討されている。</p>